



全ては子供たちのために

塩竈市立杉の入小 学校教育目標

心豊かに たくましく 進んで学び続ける 児童の育成

活躍と 交流

児童の実態

明るく素直。人懐っこい。好奇心旺盛。働き者。優しい。団結力が強い。気が利く。粘り強さに欠ける。諦めがはやい。自信がない。言葉が荒い。時間にルーズ。忘れ物が多い。成功体験が少ない。読書量が少ない。

目指す児童像

優しさと思いやりのある子供 心も体もたくましい、健康な子供 よく考え、進んで学ぶ子供

R3年度重点育成児童像「粘り強く、あきらめない子供」

【塩竈市 目指すべき姿】多くの先人を育ててきたふるさと塩竈を愛し、豊かな心と健やかな体を育みながら、未来に羽ばたく塩竈っ子を目指します。そして、子供から大人まであらゆる世代が、多様な連携により交流する中で、ともに学び、ともに楽しみ、ともに輝く、生涯学習を目指します。

Research (4・5月) Plan (6月) Do (7~12月) Check (1月) Action (2月)

具体的取組

担当

■評価方法→目標値

豊かな心を育む教育の充実と子供の居場所づくり 徳

学校評価の満点は4

「杉の子憲章」「杉小しぐさ」を踏まえた「思いやり」と「親切」の具現化
いじめ・不登校への組織的対応
「くろしお児童会」主体の活動充実による自己有用感の醸成
読書活動の推進
自己実現を図る学校行事への見直し
道徳的諸価値の理解を深める「考え、議論する道徳」の展開

全職員
全職員・い・不担当
児童会担当
図書館教育
全職員・教務
道徳教育推進教師
■学校評価→3
■学校評価→3
■児童の実態
■学校評価→2.8
■行事への反省
■週案・授業参観

「学びの共同体」の理念を踏まえた「一人も見捨てない教育」の推進 知

「ジャンプ問題」を取り入れた授業の展開
「聴く」「つなぐ」「もどす」という教師の役割を意識した授業の展開
特別支援教育の理念を基盤としたどの子供にも応じた支援
文章に働きかける力の向上
「朝の活動」の見直しによる基礎的・基本的事項の定着
「杉小スタンダード」による学習規律の徹底
教職員の得意分野を生かした授業力の向上
「5つの提言」を踏まえた授業の展開

研究主任
研究主任
特支コーディネーター
国語部
国語・算数・教務
研究主任
研究主任
研究主任
■リフレクション・週案
■リフレクション・週案
■学校評価→3
■学テ→「読む・書く力」ポイント向上
■学校評価→3
■学校評価→3
■学校評価→3
■実施回数
■学校評価→3

健やかで、たくましい体の育成 体

運動能力テストの結果を生かした教科体育の充実
各種カードを活用した、目標達成を意識した活動の展開
外遊びの奨励
給食を活用した栄養指導の充実

体育部
体育部
生徒指導
栄養教諭
■学校評価→2.8
■週案
■学校評価→3
■学校評価→3

学校を支える組織体制の確立 体制

外部人材の活用
幼保小連携・小中一貫教育の推進
安全・防災体制の充実と学ぶ環境の整備
家庭との連携による学ぶ意欲の向上
教職員の学校運営参画意識の向上
「働き方改革」の推進と「信頼される教職員」の育成

地域連携
特支コ・連携担当
防災主任・養教・地域
教務・図書館・研主
校長・教務
教頭

■学校運営協議会での話し合い
■学校評価→3
■学校評価→3
■保護者アンケート
■学校評価→3.5
■学校評価→3

学校運営協議会を核とするコミュニティスクールの運営を通し、学校・家庭・地域が一体となって推進

杉の子憲章

わたしたち杉小の子供は、
ていねいな言葉遣いに心がけ
思いやりの心を持ち、人に親切にします。
くつをきちんとそろえ、進んで家の手伝いをします。
わたしたち地域の大人は、
家庭生活や地域社会の中でしつけを行い、心身ともに
健やかな子供を育てていきます。
地域の子供に誇れる大人になれるよう努めます。

本校のあゆみ

Table with columns: 年月日, 沿革概要. Lists school events from 1952 to 2023, including opening, curriculum changes, and anniversary celebrations.

杉小しぐさ

- ◎ 心が通うニコハキあいさつ
◎ 気持ち考えやわらか言葉
◎ 笑顔が絶えない親切どころ

【平成25年1月 くろしお児童会制定】

※ 「江戸しぐさ」になぞらえ、子供たちの視点でよりよい生活を目指し、全校から言葉を募り作成したものです。

年間行事予定

Table with columns: 月, 主な行事. Lists monthly school events from April to March, including holidays, sports events, and academic activities.

本校と地域の概要

本校は、塩竈市立第二小学校学区の児童数増加に伴い、第二小学校校区から、吉津・新浜・楓町・松陽台団地・須賀（利府町）を分離し塩竈市立杉の入小学校として、昭和52年4月1日に開校した。
本校の学区は、丘陵地帯と海岸沿いの埋立地帯に大別でき、国道45号線とJR東北本線・仙石線がこれらに分けるように位置している。松陽台・楓町・青葉ヶ丘などの丘陵地帯は住宅地として開発された。新浜町など海岸沿いの地帯には、水産加工団地・魚市場・冷凍工場・仲卸市場などがある。
学区民の教育に対する関心が高く、学校の整備作業や父母教師会活動に対して協力的である。児童は、明るく素直で、学習に熱心に取り組む。一方で家庭に帰ってからの過ごし方や児童の言葉使いに課題がある。